

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2023年 6月 5日	
山口県知事 殿	
提出者	
住 所 山口県岩国市多田3丁目101番地10	
氏 名 岩国コンクリート株式会社	
代表取締役 村中三郎	
電話番号 0827-43-4111	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	岩国コンクリート株式会社
事業場の所在地	山口県岩国市多田3丁目101番地10
計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	2122 生コンクリート製造業
②事業の規模	57,400万円
③従業員数	9人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	生コンクリートを練るミキサとその運搬車を洗った水及び残コン、戻りコンが主な産業廃棄物の発生源であり、処理工程を以下に示す。 1. 骨材回収装置にかけて砂・石を分離回収する。(回収した砂・石は再生処理業者に委託して路盤材等に再資源化する。) 2. 回収水を脱水機にかけてセメント分を分離回収する。(セメント分は固化後、再生処理業者に委託して路盤材等に再資源化する。) 3. 脱水により発生した上澄水をスラッジ水と混ぜ濃度を調整して、生コンクリート練混ぜ水として再利用する。

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
<pre> graph TD A[公害防止統括者 (工場長)] --> B[廃棄物管理責任者 (工場長代理)] B --- C[] C --- D[廃棄物管理担当者 (製造係)] C --- E[廃棄物技術管理担当者 (試験係)] </pre>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度 (2022 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリートくず (がれき類を除く)・陶磁器くず	がれき類
	排 出 量	1476 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 生コンクリート納入量について納入現場との入念な打ち合わせの実施。 生コンクリート練混ぜ水にスラッジ水を使用する。 戻りコンクリートで方塊ブロックを作成する。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリートくず (がれき類を除く)・陶磁器くず	がれき類
	排 出 量	1200 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 生コンクリート納入量について納入現場との入念な打ち合わせの実施の強化。特に追加数量調整時の連絡を密に行うことにより、戻りコンクリート発生量を削減する。 方塊ブロック型枠の増設。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当する産業廃棄物なし。		
③ 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 自ら産業廃棄物の再生は行っていない。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 自ら産業廃棄物の中間処理は行っていない。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 実施例なし。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2022 年度 ）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリートくず(がれき類を除く)・陶磁器くず	がれき類
	全処理委託量	1476 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	1476 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 社内規格に則り産業廃棄物の再生処理業者を選定し、書面による契約を実施している。		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリートくず (がれき類を除く)・陶磁器くず	がれき類
	全処理委託量	1200 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	1200 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組) 委託処理業者には定期的に現地確認を行う。 有価物としての再利用の検討を行う。</p>		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

多量排出事業者の産業廃棄物処理計画書(補足)(2023年度計画)

別紙2-1

多量排出事業者 名称	岩園コンクリート株式会社	所在地(市町名)	岩園市	事業の種類	生コンクリート製造業
------------	--------------	----------	-----	-------	------------

(単位:トン)

区分	種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項										
		排出量		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		
		現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	
産業廃棄物	燃え殻																					
	汚泥																					
	廃油																					
	廃酸																					
	廃アルカリ																					
	廃プラスチック類																					
	紙くず																					
	木くず																					
	繊維くず																					
	動植物性残さ																					
	動物系固形不棄物																					
	ゴムくず																					
	金属くず																					
	ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず	1,476	1,200										1,476	1,200			1,476	1,200				
	鋸さい																					
	がれき類																					
	動物のふん尿																					
動物の死体																						
ばいじん																						
13号廃棄物																						
計 (A)		1,476	1,200	0	0	0	0	0	0	0	0	1,476	1,200	0	0	1,476	1,200	0	0	0	0	